広報さらべつ　9月号

Public Relations Sarabetsu 2016 vol.648

Sarabetsu

台風による被害状況

台風による被害状況

▲河川の増水によって削られた法面

２００７年以来、実に９年ぶりに北海道へ上陸した台風７号。この台風を皮切りに北海道は３つの台風による影響を受けました。村においても、強風・豪雨の影響により、畑の冠水や作物の倒伏といった農作物被害を始め、住宅や店舗の浸水、倒木による交通障害、河川の増水・氾濫など暮らしに関わる重大な被害が多数発生しました。

特に８月30日から31日明け方にかけて猛威を振るった台風10号による被害は大きく、増水した河川によって遊歩道までの法面が削られるなど計り知れないものとなりました。

今月号では、現在把握できている被害状況を住民のみなさんへお知らせします。なお、住宅被害など役場に報告されていない方がおられましたら、速やかに報告をお願いします。

■台風７号による被害状況（９月２日現在）
●農業被害　格納庫全壊２棟、牛舎屋根全壊１棟
　格納庫屋根一部損壊２棟
　格納庫シャッター・オーバースライダー破損９棟
　ビニールハウス破損数カ所、停電による生乳廃棄１．９ｔ
　スイートコーン　７割倒伏、デントコーン　５割倒伏
●林業被害　調査中

■台風10号による被害状況（９月２日現在）
●住宅被害　床下浸水３棟
●店舗被害　床下浸水１棟
●農業被害　調査中
●林業被害　調査中

◀畑の冠水によって床下浸水した住宅

◀▲冠水した畑

▲畑の排水が法面を破壊

▲河川の氾濫によって冠水した防風林

◀▲至る所で起きた風による倒木

海と大地子どもふれあい交流2016

更別村と友好姉妹都市である宮城県東松島市の児童が交互にお互いのまちを訪問交流する子ども交流事業の一環として、平成3年から始められた『海と大地　子どもふれあい交流』は今年で26回目。昨年は村の子どもたちが東松島市を訪問しており、今年は更別村にお迎えすることとなりました。

7月29日からの4日間、村内の小学5・6年生25名が、東松島市からの児童17名とさまざまな交流を行いました。昨年、東松島市で交流を深めている6年生の児童たちは1年ぶりの再会を喜び合い、緊張が隠し切れない様子の5年生児童たちも6年生につられるように友達を作ることができ、楽しみにしていた交流がスタートしました。子どもたちは、カントリーパークや農村環境改善センターで寝食を共にし、文字通り「同じ釜の飯を食う」共同生活をしたことで、子どもたちの絆はより強いものとなりました。また、今回は村だけでなく、十勝を感じてもらおうと2日目には帯広市を訪れ、スピードスケート体験やばんえい競馬の見学など十勝ならではの交流も実施されました。

心配されていた天候も子どもたちの元気のおかげでなんとか持ちこたえ、最後まで楽しく過ごすことができました。子どもたちの、元気あふれる交流の様子を紹介します。

2016年9月1日
功労者表彰式

開村記念日にあたる９月１日、村の自治や安全・安心な村づくりなどにご尽力とご貢献をいただいた方々の功績をたたえる村功労者表彰式が、社会福祉センターで行われました。

式典では、名誉村民の林清さんや松橋昌和村議会議長をはじめ多くの来賓が見守る中、西山村長が受章者へ表彰状と記念品を贈り「村の発展に寄与された功績に深く敬意を表します。今までに培った経験と知恵を活かし、更なる村の発展に向け、今後ともご指導をお願いします」と挨拶。

受章者を代表して我妻さんが「この表彰は地域のみなさんや諸先輩方のご理解とご協力のおかげと感じています。愛する郷土の更なる発展に向け、今後も尽力していきたいと考えております」と受章のお礼を述べられました。

社会功労者

三品　雪子さん（本　町）
民生委員児童委員として多年にわたる功績

漆川　悦啓さん（中　央　町）
更別消防団員として多年にわたる功績

内海　一憲さん（香　川　区）
更別消防団員として多年にわたる功績

教育文化功労者

我妻　一則さん（協　和　区）
社会教育委員として多年にわたる功績

善行者

鋤田　幸男さん（更　別　区）
自ら障害を乗り越え自立したことは他の模範

表彰状

更別村ボランティアすずらん会
ボランティア団体として多年にわたる功績
※写真は式に出席した副代表の大津さん

感謝状

西本　榮一さん（更別区）
村振興発展への多額の寄付

農業体験として村内の農場でイモ掘りを体験。その後のスピードスケート体験では、東松島児童の手を引く様子が見られました。

2

1

ようこそ更別村へ！入村式を終えた子どもたちは、各班に分かれて班旗を作成。夜はバーベキューや花火を楽しみました。

写真で見る
海と大地子どもふれあい交流2016

来年も笑顔でまた会おう！

4

3

ミニバレー、カレー作り、スッチョイサ踊り体験を行い、夕方からは「お別れパーティー」をして、最後の夜を過ごしました。

大学生が更別村で働き遊ぶ！

大学生が 更別村で働き遊ぶ！

「本気で農業　本気で遊ぶ」がテーマ

夏休みを利用して離農した方の一軒家に泊まり込み

農業研修やイベントの参加など更別の夏を満喫

酪農学園大学の学生が中心となり、北海道大学、帯広畜産大学の学生を交え、8月20日から約3週間を交代しながら村内にある離農した方の一軒家を借りて長期滞在をしていました。

この活動は、受け入れの支援をしている住民の自主組織「S&C更別村協議会」（以下、協議会）の支援のもと、昨年から始まり今年で2回目。滞在期間中は、主に『農業研修』と神輿渡御といった地域イベントへの参加など『地域に根付いた活動』を行い夏の更別を満喫しました。また、9月2日には、滞在している一軒家にお世話になった方や地域の方を招き、交流会を実施。学生たちが感謝の気持ちを込めて作った料理を前に笑顔があふれていました。

農業研修

生活を支える農業を体験してもらうため、協議会の参加学生のほとんどが農業に興味を持っているため、協議会の紹介を受け、村内の農家で研修を行いました。昨年は、畑作のみの研修でしたが、今年は酪農の研修も実施。昨年も参加した学生は「今年は台風の影響があり、なかなか農作業ができなかったので、やはり天候に左右される仕事だと感じました。この活動も昨年と同じプランでは難しいですね」と話していました。

農業研修が休みの日には、更別ならではの体験としてチーズ工房の見学や釣りぼりを訪れるなど更別村を満喫していました。

更別村とのお付き合い

地域とのつながりを大切に

学生たちは、地域のイベントに積極的に参加することで、より良い関係づくりに励んでいました。

今年は、神輿渡御などのほかにトラクターBAMBAなど長期滞在時以外に行われているイベントにも自ら参加してくれました。

トラクターBAMBAに参加してくれた学生は「長期滞在時には関わりの薄い住民の方々とも接することができ、とても楽しくイベントに参加できました。また、来年以降もスタッフとして参加できたら」と話してくれました。

来年以降もまた更別で

来年以降も継続して長期滞在を予定。学生は「地域に根付いた活動となれば。むらびと図鑑のようなものも作ってみたいですね（笑）。将来的には住民のみなさんに少しでも恩返しができたら。そのためにも来年以降もお付き合いを継続していきたいです」と、一軒家の壁一面に貼られた目標を前に話してくれました。

更別村開村７０周年記念事業 協賛事業の希望受付を行います

平成29年度は、昭和22年に当時の大正村から本村が分村して以来、開村70周年の節目を迎える年になります。

村では、この記念すべき平成29年度に村民とともに祝賀のムードを高めることを目的に、記念事業の実施を希望する団体に対し協賛として補助金の交付を予定しています。

審査により可否を決定いたしますが、下記のとおり受け付けますのでご案内いたします。

対象事業

協賛の対象となる事業は、次のいずれにも該当する事業とします。

❶平成29年４月１日から平成30年３月31日までの期間に冠の名称を用いて実施する事業

❷更別村開村70周年記念を祝して、村民５名以上で構成する団体（事業所は対象外）の主催により実施する新規事業

❸組織された補助交付申請者の会員などに留まらず、または、特定の個人のみを対象とせず、広く村民などの参加を募る事業もしくは広く村民などに開村70周年をＰＲ、周知できる事業

冠の名称

「更別村開村70周年記念」と事業の実施に冠名を表示し、広くPRされるように使用するものとします。

補助金の対象外経費

次に掲げる費用については、補助金対象外とします。

❶飲食費

❷参加賞品若しくは景品

❸団体の構成員に対する謝礼

❹その他冠事業実施に直接関係のない経費

事業の申請

❶すでに村から通知文書を受けとっている団体は、文書が郵送されてきた課へ承認申請書を平成28年９月30日（金）までに提出して下さい。

❷この広報により事業の実施を希望される団体は、企画政策課から更別村開村70周年記念事業協賛事業補助金交付要綱をもらい内容を確認の上、同課へ承認申請書を平成28年10月７日（金）までに提出して下さい。

●問い合せ　役場企画政策課地域開発係　☎52－2114

松野さん 村代表ランナーとして北海道マラソンに出場し力走

８月28日（日）、札幌市にて「北海道マラソン2016」が開催されました。今回は第30回記念大会として、道内全市町村から各１名のランナーが参加する「道内179市町村参加企画」が実施され、更別村の代表ランナーとして、若葉町の松野晃也さんがフルマラソンに出場しました。

過去最高のエントリー数となった17,920人が参加する中、『更別村』の文字を胸に見事524位（３時間２分16秒）で完走を果たし、村のPRにも大いに貢献していただきました。完走した松野さんは「最後の方で疲れてしまい目標としていた３時間を切ることができなかったのは残念ですが、自分としては80点。合格点です」と話してくれました。

保健だより

vol.63　　管理栄養士　梅本　リカ

もっと 野菜を食べよう！食生活で防ぐ生活習慣病

村では生活習慣病の予防・早期発見のため、昨年から20代の若い世代も健診を受けられるようになりました。

健診結果から、若くても健康とはいえない現状も見えてきました。健診後の相談で気付いた食生活の傾向「野菜が少ない」をテーマに、野菜の効果や日常でのポイントについてお伝えします。

１日の野菜の適量は？『３５０ｇ』

生活習慣病の予防などには、1日350ｇ以上必要とされています。

料理にすると小鉢５皿程度（例:サラダ、煮物、炒め物、みそ汁やスープ、お浸し）、１日３食では１食に１～２品必要となります。鍋などで一度にたくさんの野菜を食べる場合は、1品でも大丈夫です。

野菜の効果

糖尿病の予防・改善	糖の吸収を緩やかにします。野菜から食べると効果的！
高LDLコレステロール（悪玉）の改善	HDLコレステロール（善玉）を増やし、高カロリーで飽和脂肪酸の多い肉などのコレステロール吸収を抑えることにもつながります。
高血圧の予防・改善	野菜に多く含まれるカリウムが、血圧を低下させます。
メタボ予防	食物繊維や代謝に必要なビタミン・ミネラルの効果で太りにくい身体に。
ストレス対策	からだの修復に必要な栄養素がとれます。ビタミンB1はイライラ防止、ビタミンCはストレスに対する抵抗力を高めます。
がん予防	発がん性物質の働きを抑えたり、便通を良くし大腸がん予防に役立ちます。

こんな効果も！

野菜を食べると、消化に時間がかかるため腹持ちがよくなり、間食が減ります。ぜひ、お試しを。

野菜を増やす工夫

■手軽な料理

サラダ、野菜炒め、野菜たっぷりのみそ汁やスープ。

生野菜が食べにくい方は、レンジで加熱すると量が減り食べやすいです。

■外食の工夫

定食メニューは野菜が多くおすすめ！

■料理が苦手な方

最近はカットした野菜やお惣菜も売っているので上手に活用しましょう。野菜ジュースは、ビタミンやミネラルを含みますが、食物繊維は少なく、果汁入りは糖質が多いです。野菜のみのタイプか糖質の少ないものを選び、補助的に使うことが大切です。

美味しく食べるレシピ

☆ほうれん草のツナ和え☆

＜材料　２人分＞

・ほうれん草　80g（１／２束）
・コーン粒　20g
・ツナ缶　20g
・青じそドレッシング　小さじ２

＜作り方＞

①ほうれん草はゆでて、3㎝の長さに切る。
②材料をすべてまぜ合わせ、和える。

栄養価＜1人＞

エネルギー 29kcal　　塩分0.4g

【レシピのポイント】

簡単に作れて、ほうれん草で鉄分とカルシウムを摂取できます。

収穫の秋を迎え、地元の野菜がとても美味しい季節。新鮮な野菜は薄味で十分美味しく食べられます。美味しい野菜を食べて、健康づくりにお役立てください。

●問い合せ　役場保健福祉課保健推進係
☎53－3000

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 総　務　課　☎52－2111　✉soumu@sarabetsu.jp
➔ 企画政策課　☎52－2114　✉kikaku@sarabetsu.jp

更別人

かがやきびと

第２３回全国高等学校写真選手権大会
優秀賞（東神楽町長賞）
町民が選ぶ特別賞ファイナル審査会の部

渡辺　詩乃さん

７月26日から３日間、上川管内東川町など５市町を舞台に行われた第23回全国高等学校写真選手権大会において、渡辺詩乃さんが主将を務める帯広工業高等学校が本戦初出場を果たし、優秀賞と特別賞を獲得する見事な成績を収めました。

この大会は、与えられた題材を３人一組で８枚組の写真として表現し、第一線で活躍する写真家により審査されます。今回の成果に渡辺さんは「３年間の努力が実を結びました。なにより特別賞に選出されたことがとても嬉しく、光栄です。これからも写真を通じて多くの人とつながり合うことができたら」と笑顔で写真への思いを語ってくれました。

バドミントン全道大会へ 上更別小学校４名が出場報告

上更別小学校の本多永梨佳さん、本間有莉さんペアと有金将弥さん、加藤拓磨さんペアが８月19日に教育委員会を訪れ全道大会への出場を報告しました。本多さんは「この全道大会では、２人で１点でも多くポイントしたい」と意気込みを語りました。荻原教育長は「日頃から支えてくれている多くの人に感謝し、オリンピックにも負けない白熱した戦いを期待します」と激励の言葉を贈りました。

安村さん 全国大会ベスト１６ 「目標に届かなくて悔しい」

８月17日から新潟県で開催された第47回全国中学校柔道大会に、更別中央中学校３年の安村華琳さんが出場しベスト16に入りました。

３回戦で昨年３位の実力者と対戦し、惜しくも敗れてしまいました。目標はベスト４と話していた安村さんはこの結果に「悔しい結果です。この経験を糧に高校生になっても柔道を続け、お世話になった人たちに良い報告ができれば」と話してくれました。

8/3 暑い夏は流しそうめん

シルバーハウジング団らん室前の広場で、入居者が企画する毎年恒例の流しそうめんが行われ、参加者のみなさんは夏の風物詩を満喫しました。

この事業は入居者の方の自主事業の一環として実施されました。買い出しから調理、流し台のセッティングも入居者のみなさんで用意。この日は、関係機関や町内会の方などを招く地域開放事業として行われ、小学生から大人まで参加しました。流されたのはそうめんだけではなく、ラーメンなども流され、さまざまな味が楽しめる流しそうめんとなりました。

参加したみなさんは、近くの方とお話しをしながら、流れてくるそうめんを味わっていました。

8/24 たくさんのすももを収穫

すももを使った商品開発に取り組んでいる更別農業高校で、今年度の加工に使用する原料を収穫しようと同校の生徒がすももの里を訪れました。

収穫時期に上陸した台風の被害もあり、熟したすももの多くは木から落ちてしまい、例年よりも熟した実は少なかったものの、生徒たちは1時間でたくさんのコンテナに実を収穫。集まったすももは加工品として、10月に開催されるさらべつ大収穫祭や来年度のすももの里まつりで販売される予定です。

収穫作業を行った青木康将君は、「初めてのすももの収穫で大変でした。慣れない作業にとても疲れました」と話してくれました。

8/26 楽しく英語を学ぶ

新しく着任したALT（外国語指導助手）のカイリーさんが更別幼稚園の5歳児クラスで簡単な英単語を楽しく学ぶ授業を行いました。

最初は簡単な英語でカイリーさんが自己紹介。子どもたちは聞きなれない英語に戸惑っている様子でした。しかし、英語が楽しく学べる身体を使ったゲームや簡単な英単語のリピートなどを繰り返していくうちに、すっかり慣れた様子で英語を楽しんでいました。

教材として使用したCDとアルファベットごとに英単語が学べる本を5歳児全員にプレゼント。子どもたちは、カイリーさんから教材を「サンキュー」と言って受け取りました。

8/24 ストレス耐性を身に付ける

更別中央中学校で総合の授業の一環として、講師に学校医でもある診療所の山田所長を招き、出前授業を行いました。

この授業は、中学1年生を対象に、ストレスに対処する力やコミュニケーションを上手に取る方法を学んでもらうことを目的として実施。グループごとに意見を出し合ったり、簡単なゲームなどを行いました。山田所長は「思春期は人間関係でストレスを感じることが多いが、適度なストレスは重要なので人とうまく付き合って」と話しました。授業を受けた生徒は「自分とほかの人ではストレスの感じ方などが違うことを学んだ」と話してくれました。

9/1 五穀豊穣を願い上更別豊年踊り

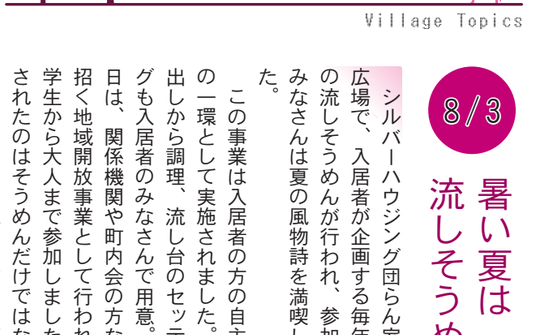
毎年、地域の若者が中心となり手づくりで行われている上更別豊年踊りが上更別福祉館駐車場で開催され、地域の方々のみならず更別市街からも足を運び、多くの方で賑わいました。

今年の豊作を願い『子どもの部』『大人の部』と多くの方が太鼓の音色とともに踊りの輪を広げます。会場には、上更別市街の商店のみなさんが中心に屋台を出店し、食欲をそそる匂いが会場を包み、たくさんの方が焼き鳥などを買い求めました。

村上幸一実行委員長は「今年も多くの方が来てくれて感謝です。これからも毎年楽しみにしてもらえる豊年踊りにしていきたい」と話してくれました。

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 建設水道課 ☎52－5200 ✉kensetu@sarabetsu.jp
➔ 出 納 課 ☎52－2113 ✉suitou@sarabetsu.jp

8/5 夏休み工作教室を開催



夏休みの自由研究や工作に役立ててもらおうと夏休み夢ん子工作教室を農村環境改善センターで開催し、13名の小学生が参加しました。

今年の工作教室は、さまざまな色のクラフトテープを使って、ペンたてや小物入れを作りました。用意されたカラフルなテープの中から自分が好きな色のテープを選び、接着剤を使ってたくさんの輪を作成。それを下から順番に編み込んでペンたてや小物入れが完成していきます。小学生は手をベトベトにしながらも自分好みの作品を仕上げていました。

参加した1年生の男の子は「手がベトベトになっちゃったけど楽しかった」と話してくれました。

8/7・8/21 福祉施設で夏祭り

元気の里さらべつとコムニの里さらべつの両福祉施設でそれぞれお祭りが開催され、利用者の方はもちろん、家族や地域の方が訪れ大いに盛り上がりました。

元気の里さらべつでは、夏の風物詩のスイカ割りや大正琴、オカリナの演奏、よさこいソーラン演舞など地域を挙げてのお祭りとなりました。

コムニの里さらべつでは、あいにくの雨で室内での開催となりましたが、YOSAKOI紅の演舞やかしわ太鼓保存会の太鼓披露もあり、職員の方も一緒に踊ったり、太鼓を熱演。入居者と家族、来場者は楽しいひと時を過ごしました。

8/14 どんぐり村の盆踊り

村商工会青年部が主催する51回目の「どんぐり村の盆踊り」が開催され、役場前の特設会場には大勢のみなさんが集まりました。

開始時刻の午後6時には、色鮮やかな浴衣を着た子どもたちが集まり始め、太鼓の音色とともに子ども盆踊りがスタート。日が落ちてからの大人の浴衣踊りでは、さまざまな踊り手たちが今年も会場を大いに盛り上げました。

また、来場者の中にはお盆休みで帰省している方たちも多くみられ、久しぶりに会う友人やお孫さんと楽しいひと時を過ごすなど、会場にはたくさんの笑顔が溢れていました。

各課・施設の電話／メールアドレス
➔産 業 課 ☎52－2115 ✉sangyou@sarabetsu.jp
➔住民生活課 ☎52－2112 ✉jyuumin@sarabetsu.jp

お知らせ

秋の全国交通安全運動

９月21日(水)から９月30日(金)まで、秋の全国交通安全運動が実施されます。また、期間最終日の９月30日(金)は、交通事故死ゼロを目指す日としても設定されています。

農作物の輸送繁忙期に加え、日没時間が早くなり、交通事故が起きやすくなります。運転者のみなさんは早めのライト点灯を、歩行者は反射材用品などの着用を心がけてください。

●運動の重点
◆子どもと高齢者の交通事故防止
◆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に、反射材用品などの着用推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
◆後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
◆飲酒運転根絶
●問い合せ
役場住民生活課住民活動係
☎52－2112

B型肝炎の予防接種が定期接種になります

10月１日から乳児のＢ型肝炎ワクチンの予防接種が定期接種になります。

●対　　象
平成28年４月以降生まれで満１歳までのお子さん
●標準的な接種月齢
生後２か月、３か月、７～８か月の３回接種
●接種場所
更別村国民健康保険診療所
●接種日時
毎週木曜日
13時30分～14時00分受付
●予約方法
接種希望日の３日前までに村診療所(☎52－2301)へ予約してください。
※平成28年３月以前生まれでも満１歳までのお子さんは、今年度は村で全額助成しますので、無料で接種できます。
●問い合せ
役場子育て応援課
☎53－3700

第26回「公証週間」電話相談のご案内

10月１日から７日までは公証週間です。公証制度を広く国民の間に普及させるため、日本公証人連合会本部において、同期間中電話相談を実施します。

●日　　時
10月１日(土)～10月７日(金)
◆９時30分～12時00分
◆13時00分～16時30分
●相 談 先
電話相談窓口　　☎(03)3502－8239
●内　　容
遺言、任意後見契約など公証事務全般に関すること
●問い合せ
釧路地方法務局総務課庶務係
☎(0154)31－5010

全国一斉！法務局休日相談所の開催について

司法書士会、土地家屋調査士会、公証人会及び人権擁護委員連合会が法務局と連携して、登記・供託・戸籍・人権擁護事務などの所掌事務について地域のみなさんからの相談にお応えする「全国一斉！法務局休日相談所」を開催します。相談は無料で、個人情報などの秘密は厳守いたしますのでお気軽にご相談ください。

●日　　時
10月２日(日)　10時00分～15時00分
●場　　所
帯広市東５条南９丁目１番地１
帯広法務総合庁舎１階会議室
※無料駐車場有
●相談所について
◆相談担当者
法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人、人権擁護委員
◆相談内容
・土地及び家屋に関する登記、会社及び法人に関する登記手続き
・土地の測量、隣地との境界紛争
・地代及び家賃の紛争、給与の差押えにおける供託
・近隣トラブル、いじめ、虐待、DV、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、インターネットにおけるプライバシーの侵害などの困りごと
・成年後後見人
・離婚や養子縁組、無国籍などの身分事項に関する困りごと
・遺言や相続に関する困りごと
など
◆予約について
予約者を優先して相談に応じますので予約されてのご相談をお勧めします。
●予約・問い合せ
◆受付時間　平日９時00分～17時00分
◆予約締切　９月28日(水)
釧路地方法務局帯広支局総務課
☎24－5823
(音声案内「３」を押してください)

平成28年度 全国労働衛生週間

平成28年度全国労働衛生週間が９月１日から30日までを準備期間、10月１日から７日までを本週間として実施されます。

本年度は改正労働安全衛生法により、①ストレスチェック制度の創設、②化学物質の表示対象物質の追加やリスクアセスメントの実施、③受動喫煙防止対策の充実などが定められたことや、過労死防止対策の推進、疾病を抱える労働者の治療と職業生活の両立支援が求められているなどの背景を踏まえて、「健康職場　つくる　まもる　みんなが主役」をスローガンに事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることを目標としています。

この機会にそれぞれの職場において作業環境や作業方法の点検改善、健康診断結果による保健指導などを実施しましょう。

●問い合せ
帯広労働基準監督署安全衛生課
☎22－8100

募集

平成29年度　「児童福祉週間」標語の募集について

毎年５月５日の「こどもの日」から１週間を「児童福祉週間(５月５日～５月11日)」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っていますが、平成29年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については、(公財)児童育成協会のホームページ
(http://www.kodomono-shiro.or.jp)
をご参照いただくか、下記問い合せ先までご照会ください。

●募集期間
平成28年９月１日(木)～10月20日(木)
●募集内容
元気で頑張る子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語。
●主 催 者
厚生労働省、(社福)全国社会福祉協議会、(公財)児童育成協会
●問い合せ
(公財)児童育成協会事業部標語募集係
☎(03)3498－4592

冬休み海外研修交流事業の参加者を募集します

公益財団法人　国際青少年研修協会では、５コースの参加者を募集しています。海外生活を通して交流を体験し、国際感覚を養うことを目的に実施します。一人で参加する方や初めて海外へ行かれる方が７割以上となっています。事前研修会では仲間作りからサポートしますので、安心して参加いただけます。

●内　　容
ホームステイ・クリスマス体験・英語研修・文化交流・地域見学・野外活動など
※コースにより体験内容を選べます。
●研 修 国
オーストラリア・カナダ・サイパン・フィリピン・カンボジア
●日　　程
12月24日(土)～１月４日(水)の内６～10日間
※コースにより異なります。
●対　　象
小学３年生～高校３年生
※コースにより対象が異なります。
●定　　員
各グループ15名
●参 加 費
23万８千円～42万５千円
●締　　切
11月２日(水)　※申し込み先着順
(10月26日までにお申し込みの方は、早期割引１万円)
●問い合せ・資料請求
(公財)国際青少年研修協会
〒141－0031
東京都品川区西五反田７－15－４
第三花田ビル４Ｆ
☎03(6417)9721
FAX03(6417)9724
✉info@kskk.or.jp

国民年金

国民年金保険料の割引制度を利用しませんか？

国民年金保険料をまとめて前払い(前納)すると保険料が割引される制度があります。また、納付方法を口座振替にすることでさらに割引額が大きくなります。保険料の払い忘れによって、将来受け取る老齢基礎年金の減額に加え、いざというとき障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなる場合があります。

支払いに時間がとれない方や納め忘れが心配な方のほか、お得に保険料を納めたいという方は、ぜひご利用ください。

●平成28年度の振替方法別割引額

振替方法	１回あたりの納付額	割引額	対象期間
２年前納(口座)	377,310円	15,690円	４月～翌々年３月分
１年前納(口座)	191,030円	4,090円	４月～翌年３月分
１年前納(現金)	191,660円	3,460円	
６か月前納(口座)	96,450円	1,110円	４月～９月分、10月～翌年３月分
６か月前納(現金)	96,770円	790円	
早割(口座)	16,210円	50円	当月分
毎月納付(口座)	16,260円	なし	前月分
毎月納付(現金)			

※口座振替のお申し込みは預貯金口座をお持ちの金融機関またはお近くの年金事務所(郵送も可)で受け付けしています。お申し込みには必要事項(基礎年金番号など)の記入と金融機関の届出印が必要です。
※お申し込みや引き落としには手数料は一切かかりません。
●問い合せ
帯広年金事務所　　☎25-8113
役場住民生活課戸籍窓口係
☎52-2112

税

固定資産税第２期、国民健康保険税第３期納期限は９月30日(金)

固定資産税第２期、国民健康保険税第３期の納期限は９月30日(金)です。

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

●問い合せ
役場住民生活課資産税係・住民税係
☎52－2112

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。(ハガキは3ヵ月ごとに広報紙へ折込しています。ご利用ください)

更別農業高校ニュース

東北海道技術競技大会に参加して

3年A組　農業科　大友　葵

8月10日(水)に美幌高校で行われた東北海道技術競技大会に初めて参加しました。私は農業鑑定競技(農業)に出場しました。大会に向けて夏休み中に学校に登校し、野菜の種類や病気、農業機械、草花や雑草の品種など、農業鑑定競技の学習を行いました。大会前日も午前中に勉強をし、午後からバスに乗って美幌に向かいました。

大会当日は私たち更別農業高校も合わせて、東北海道農業クラブ連盟に所属する10校から代表者が集まりました。かなり多くの参加生徒がいたため、初めて大会に出場した私はずっと緊張していました。なかなか緊張がほぐれず、落ち着いて競技に臨むことができませんでした。ベストを尽くせず、入賞することもできなかったので、悔しいという思いしかありません。しかし、3年生として最後の技術競技大会で学校代表に選ばれ、東北海道大会に参加できたことは良い経験になりました。

3年A組　農業科　白石雅人

私は東北海道技術競技大会の家畜審査競技(乳牛の部)に参加しました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、昨年に引き続き2年連続で大会に出場できたことを嬉しく思っています。

今年も夏休み中に登校して、ホルスタインの見方やいい牛の見分け方など、家畜審査競技に向けて勉強をしました。私の家は畑作と和牛農家のため、実際にホルスタインを扱うことはありませんが、家畜審査競技の勉強をすることは後継者である私の将来につながると感じています。大会に出場した経験と今回学習したことを就農したときに活かせるようにこれからも頑張っていきます。

村長室だより NO.15

letter from Takeshi

みなさんが健康に過ごせる村を

「医療は誰のために…」
～井伊雅子さん(一橋大学教授)の論文から～

○「医療・介護に関する研究会」報告書で村の診療所が紹介されました。

…次に紹介するのは、北海道河西郡更別村の国民健康保険診療所である。

この診療所は、全国公募の医師1名で数10年来運営してきたが、2000年に医師が退職し、無医村になった。2001年より北海道家庭医療学センターとの業務提携で家庭医療専門医2名の派遣が決定し、家庭医による医療の提供が開始された。

現在は、家庭医療専門医4名(うち1名は家庭医を志す専攻医)、看護師9名、作業療法士1名、看護補助員7名、事務5名の合計26人で構成され、365日24時間の救急を含む診療体制をはじめ、行政と連携して地域包括ケアシステムを構築している。

平成27年度の外来は1日平均71名、入院患者は1日平均6.5名、訪問診療は月平均8.8名往診は、月平均4.5回、その他特別養護老人ホーム、認知症患者向けのグループホームの入居者に訪問看護師と家庭医が連携して医療的なケアを提供し、看取りも行なっている。

山田診療所長(家庭医療専門医)は、保健、福祉、介護、医療において村のアドバイザーとして、地域のこの領域に関する方向性を調整する役割をもっている。

地域の特性に合わせて診療所、保健福祉課、社会福祉協議会(社協)、村営サービス付高齢者住宅を一つの建物に集約し、この建物の周辺に高齢者向けの公営住宅や特別養護老人ホーム(特老)などの施設を配置して(福祉の里構想)、機能的な村づくりに長年取り組んでいる。

在宅や施設での看取りを推進し、「老衰」での死亡が増加、認知症外来の設置などに取り組み、プライマリ・ケア(総合的に診る医療)が最大限機能するような町づくりになっているため地域住民の信頼も厚い。

高齢化が進んでいるにもかかわらず、救急搬送の件数は15年前と変化はなく、住民一人当たりの医療費は北海道内でも最も低い自治体の一つで、後期高齢者に関しては北海道では最下位である。

参考文献…「医療・介護に関する研究会」報告書
2016年5月発行
財務総合政策研究所

**～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声があふれ、
一人ひとりが輝く村～**

○福祉・医療は村づくりの要、全ての人々が健康で健やかな毎日を！

村の医療は、管内や全道から注目を浴びています。山田先生をはじめとする先生方やスタッフのみなさんの日々の献身的な医療活動に甘んずることなく、村としてもしっかりと手を携えて歩んでいかなければなりません。

団塊の世代が75歳を迎える、いわゆる2035年問題の解決に向け、村ならではの地域包括ケアシステムの確立と充実に向け邁進していきたいと考えています。

各課・施設の電話／メールアドレス
→ 教育委員会　☎52－3171　✉kyoui@sarabetsu.jp
→ 子育て応援課　☎53－3700　✉kosodate@sarabetsu.jp

ALT（外国語指導助手）に ベイド　カイリー　ケイリオン Bade,Kielley Kayleone さんが着任

前任のイエンさんに代わって着任したやさしい雰囲気で笑顔の素敵なベイド カイリー ケイリオンさんにインタビューをしました。

Q：自己紹介をお願いします。

A：はじめましてカイリーベイドです。24歳です。出身はホテルやカジノで有名なアメリカのラスベガスです。ラスベガスはとても暑い気候ですので、更別の涼しい気候を体験するのが楽しみです。

Q：更別の印象はいかがですか？

A：到着してまだ間もないですが、更別村は静かで美しく、親切な人々がいっぱいのまちという印象を受けました。

Q：村民の方へ一言お願いします。

A：日本語はそれほど上手ではありませんが、英語でも日本語でも気軽に話しかけてもらえたらうれしいです。
学校の英語の授業だけでなく、英会話教室もやっているので、みなさん遊びに来てください！！

教育委員会が主催し、カイリーベイドさんが講師を務める英会話講座は毎週月曜日に開催されています。

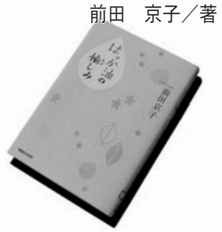
●よちよち英会話（10時00分～11時00分）
英会話をはじめてみたい方などを対象にした基礎的な講座です。
どなたでも気軽に楽しめる内容となっています。

●ＥＺ英会話（19時00分～20時00分）
日常生活や旅行に役立つ英会話や、英語を身につけたい方にお勧めの講座。
「よちよち英会話」よりも、より実践的な英会話を体験できます。

●問い合せ
教育委員会事務局社会教育係　☎52－3171

農村環境改善センター 図書室 今月のおすすめ本

はっか油の愉しみ
前田　京子／著



簡単に手作りできるはっか油を使った34のレシピ&エッセイ。これではっか油を愉しんでみては。

女はつまる　男はくだる
水上　健／著

悩みがつきない「お腹の問題」がみるみる解決。面倒なことや難しいことは一切ありません！

シンプルな部屋づくりのヒント
主婦の友社／編

すっきり暮らすあの人たちのコツとアイディアをぱっちり教えます。模様替えを考えている方におすすめ。

各課・施設の電話／メールアドレス
→ とかち広域消防事務組合更別消防署　☎52－2201　✉syoubou@sarabetsu.jp
→ ふるさと館　☎52－2211　✉furusato@sarabetsu.jp

戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

佐藤　楓　くん
貴之・瑞生（柏　町）

石井　陽葵ちゃん
和人・理那（東栄区）

お悔やみ申し上げます

及川　美智子さん　91歳
（東栄区）

人のうごき

■人　口
3,269人（－8人）【内外国人6人】
男1,619人（－6人）
【内外国人4人】
女1,650人（－2人）
【内外国人2人】

■世帯数
1,312世帯（－2）
【内外国人1世帯】

※8月1日現在。（　）内は前月比。

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
1128日（8月31日現在）

■交通安全のお知らせ
『ながらスマホにご注意を』
運転中や歩行中にスマートフォンなどの携帯電話を使用することは大変危険な行為です。最近ではアプリゲームをしながら運転をしていたことで死亡事故につながるケースも発生しています。ながらスマホなどの行為は絶対にやめましょう。

益田　結愛ちゃん
平成27年9月18日生
曙町

５人兄弟の末っ子『結愛』です。みんなに甘やかされ愛されながらすくすく成長しています。
兄弟仲良く優しい子で元気いっぱいに大きくなってね♡
圭太・沙緒里

長﨑　大悟くん
平成27年9月26日生
本町

毎日いっぱい遊んで元気な大悟。これからもたくさん食べて、遊んで、大きく育ってね。
裕希・真奈美

米山　結愛ちゃん
平成27年9月22日生
曙町

毎日のようにお姉ちゃんと一緒に遊んで元気いっぱい！パワフル結愛です。いたずら大好き、そして一番は２人のお姉ちゃんが大好きです。仲良くスクスク育ってネ。
勲・幸子

ご厚意に感謝します

更生区の渡邊登さんから２０００万円の寄付金をいただきました。
寄付金は「福祉の推進に関する事業」に使用させていただきます。

池田町の㈱遊佐組様から「防災の推進及び消防体制の充実に関する事業」への寄付として防災用品（保存水、保存用パン、アルファ米）をいただきました。

表紙の風景

９月１日、五穀豊穣や家内安全を祈願する更別神社秋季祭典が行われました。
祭典ではさらべつ三五四（みこし）会員が中心となり神輿を渡御。「ワッショイ」の掛け声とともに更別の市街を練り歩きました。
大人に負けじと子どもたちも神輿を渡御し、大きな声を出して神輿を担いでいました。

広報さらべつ　９月号
Public Relations Sarabetsu 2016 vol.648
Sarabetsu
平成28年９月12日発行（vol.648）
更別村役場　住民生活課
〒089－1595
北海道河西郡更別村字更別
南１線93番地
☎0155（52）2111（代表）　FAX0155（52）2812
ホームページ　http://www.sarabetsu.jp/
Ｅメール（代表）village-office@sarabetsu.jp